

参考資料

TYLCV撲滅のための年間防除スケジュール～促成トマト地帯版～

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	タバココナジラミ類発生活長（模式図）								
	栽培終了期			育苗期			定植期		
ハウス	タバココナジラミ類が増加し始める前に防除を徹底する。		ハウスの蒸し込み。方法は資料を参照。		改良陽熱消毒の実施。		定植時の粒剤処理。早期発見、誘殺のための黄色粘着板の設置。定期的な薬剤散布。		
	施設開口部には防虫ネット（目合い10.4mm以下が望ましい）を必ず設置。薬剤散布時には防虫ネットにも必ず薬剤を散布する。近紫外線カットフィルムでの被覆。								
	発病株は重要な伝染源になるので、すぐに抜き取り処分する。 <u>新葉の発病部分だけを摘除しても意味はないので注意する。</u>								
育苗ハウス	防虫ネットの設置。近紫外線カットフィルムでの被覆。タバココナジラミ類防除用の粒剤処理。殺虫剤の定期散布。								
ハウス周辺の除草 (一斉防除)	毎月1回は除草作業を実施。畦畔が崩壊しやすい場所での除草剤の使用は注意する。タバココナジラミ類は広葉雑草やセイタカアワダチソウ等で増殖するので、特にこれらを重点的に除草する。育苗中の除草は、タバココナジラミ類が苗に飛来する恐れがあるので、苗に殺虫剤を散布してから実施する。野良生えのトマトは増殖源、伝染源になるので、見つけ次第抜き取り処分する。								
その他	家庭菜園トマトで発生が認められた場合は、発病株の抜き取りやタバココナジラミ類の防除をお願いします。								